



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	164	126	228	0
事業費計		(千円)	164	126	228	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.15	0.15		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,059	1,059		
事業コスト		(千円)	1,223	1,185		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>文化財保護審議会委員報酬 168,000円</li> <li>会議開催に伴う費用弁償 60,000円</li> </ul>					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	16	16	38	0
	一般財源	(千円)	3,751	4,742	5,872	0
事業費計		(千円)	3,767	4,758	5,910	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.40	0.40		
		時間外勤務 (時間)	250.00	90.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,444	2,936		
事業コスト		(千円)	7,211	7,694		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費100千円</li> <li>・旅費 240千円</li> <li>・需用費319千円①消耗品13,000円 ②印刷製本費6,000円 ③市管理指定文化財修繕料300,000円</li> <li>・委託料4,080千円</li> <li>・使用料及び賃借料707千円 市指定史跡日向廃寺跡土地賃借料1,285㎡×550円/㎡=706,750円</li> <li>・工事請負費396千円 指定文化財説明(案内)板設置工事一式396,000円</li> <li>・負担金補助及び交付金1,339千円</li> </ul>					
	※歳入 行政財産使用料38千円					

予算の方向性	理由	植栽維持管理委託料の大幅な増額が避けられないため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	25,683	4,215	1,271	0
事業費計		(千円)	25,683	4,215	1,271	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.25	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,765	1,412		
事業コスト		(千円)	27,448	5,627		

R02年度当初積算根拠	補助金 1,271千円 (指定文化財修繕300千円、大塚家住宅差茅修繕等676千円、民俗文化財保存240千円、大塚家住宅火災報知器点検55千円)					
-------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	県指定文化財筑波山神社神橋の修理補助が完了したため。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目		平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円) 0	0	0	0
	県支出金	(千円) 0	0	0	0
	地方債	(千円) 0	0	0	0
	その他	(千円) 154	93	220	0
	一般財源	(千円) 349	850	467	0
事業費計		(千円) 503	943	687	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20	
		時間外勤務 (時間)	0.00	20.00	
	臨時職員等	(有無)	有	有	
人件費		(千円)	1,412	1,407	
事業コスト		(千円)	1,915	2,350	

R02年度当初積算根拠	・普通旅費	5千円
	・需用費	512千円 (消耗品 12千円、市史史料集印刷製本 500千円)
	・委託料	70千円 (重要資料撮影委託)
	・備品購入費	100千円 (市史関連歴史資料)
	※歳入	町村史売上料 220千円

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	3
市民ニーズと今後の見込み	今後とも一定の市民ニーズが見込まれる。
進捗状況	4
事業が計画的に進んでいるか	計画通りに進めることができた。
市の関与	2
行政が関与する必要性について	今後とも市が実施するほうがよい。
優先度	2
事業の優先度はどうか	継続して実施する必要がある。





	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	195	85	0	0	
事業費計		(千円)	195	85	0	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.05	0.05			
		時間外勤務 (時間)	0.00	0.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	353	353			
事業コスト		(千円)	548	438			

R02年度当初積算根拠	なし						
-------------	----	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由	保存整備事業の整備工事が平成28年度で、発掘調査が平成30年度で終了したことから、保存整備委員会も今年度で一旦休止とした。
廃止		

方向性		
市民ニーズ	1	ニーズはほとんどない、又は不明である。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	-	今年度で事業が終了する。
行政が関与する必要性について		
優先度	-	法令等により、市の実施が定められている。又は、今年度で事業が終了する。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	862 小田城跡確認調査事業							
戦略プラン					担当部課 係名	教育局文化財課 保存係・活用係		
総合戦略					新規・継続	継続		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-100503-15 小田城跡に要する経費			市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証			
要求区分		事業期間	平成 9年度～令和 2年度					
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画、つくば市文化財保存活用計画							
根拠法令				事業体制	職員のみ			
				市長公約				
概要								
事業の目的				事業の概要				
買収した土地等、「小田城跡」の地下状況を把握、確認するため。				国指定史跡「小田城跡」の本丸周辺部(遺構保全ゾーン)、約71,000㎡のうち、4,500㎡を目安に平成9年度～令和2年度(現地調査はH30年度まで)で発掘調査及び整理調査を実施する。				
評価								
事業計画				活動実績				
平成26～30年度の現地調査基礎整理を完了させるほか、出土品保存処理を行う。				報告書刊行に向けて、26年度～30年度の現地調査基礎整理を完了させ、一部詳細調査を実施した。また木製品3点の保存処理を行った。				
成果				課題				
基礎整理を進めることで、保存・整備・活用の計画作成に必要な基礎資料を得ることができた。また木製品の保存処理を実施することで、出土品の恒久的な保存が可能となった。				令和2年度分の国補助金が減額される可能性があり、予定通り事業を進められるか不透明である。				
改善目標 (R02年度にむけて)								
令和2年度は、詳細整理を進め、報告書作成を継続する。								
指標の推移								
1	指標名	累計発掘調査面積 ( m <sup>2</sup> )					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	3,700.0	4,000.0	4,200.0	4,500.0	4,800.0	4,800.0	0.0
	実績	3,774.0	4,122.0	4,350.0	4,642.0	5,035.0	5,035.0	0.0
	指標の概要	発掘調査面積の合計。令和元年度は整理調査のみのため0㎡。						
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,788	585	2,002	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,250	635	2,034	0
事業費計		(千円)	4,038	1,220	4,036	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.60	0.60		
		時間外勤務 (時間)	173.50	130.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	4,666	4,390		
事業コスト		(千円)	8,704	5,610		

R02年度当初積算根拠	08報酬 2,037千円 (会計年度任用職員報酬)					
	09旅費 122千円 (会計年度任用職員費用弁償)					
	11需用費 673千円 (消耗品費 183千円、報告書印刷代 490千円)					
	13委託料 1,204千円 (理化学分析 263千円、保存処理 941千円)					
	※歳入 国庫補助金 2,002千円 (埋蔵文化財発掘調査等事業・対象経費の1/2)					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	74	87	33	0
	一般財源	(千円)	103,693	51,183	62,082	0
事業費計		(千円)	103,767	51,270	62,115	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	0.75		
		時間外勤務 (時間)	265.00	50.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	5,598	5,211		
事業コスト		(千円)	109,365	56,481		

R02年度当初積算根拠	<ul style="list-style-type: none"> <li>・報償費 450千円 ・旅費 7千円</li> <li>・需用費 4,430千円</li> <li>①消耗品費303千円 ②印刷製本費495千円 ③光熱水費3,152千円 ④修繕料480千円</li> <li>・役務費 1,319千円</li> <li>①通信運搬費(電話料)247千円 ②手数料755千円 ③桜歴史民俗資料館案内業務704千円</li> <li>④保険料317千円</li> <li>・委託料 55,382千円</li> <li>・使用料及び賃借料 512千円</li> <li>・負担金補助及び交付金15千円</li> <li>※歳入33千円</li> <li>①その他特財・行政財産使用料10千円(平沢官衙遺跡案内所自動販売機設置料等)</li> <li>②その他特財・教育費雑入23千円(自動販売機電気料等)</li> </ul>

予算の方向性	理由	平沢官衙遺跡保存活用計画の策定と旧豊里庁舎の維持管理が新たに加わるため。また、労務・資材単価の増に伴う植栽維持管理委託料の増額が避けられないため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	983 文化財サポーター事業							
戦略プラン					担当部課 係名	教育局文化財課 活用係		
総合戦略					新規・継続	新規		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-100503-18 歴史文化教育・活用に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画		
要求区分		事業期間				<input checked="" type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画	つくば市文化財保存活用計画							
根拠法令					事業体制	職員のみ		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
市民が歴史や文化財に触れる機会、市の文化財行政を知る機会を作ることを目的とする。				<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア育成を目的とした講座を行い、講座参加者の中から、展示施設や文化財の解説のほか、学校支援業務への協力、文化財の見回り、イベント時の補助、展示作成時の補助などを行えるサポーターの育成を目指す。</li> </ul>				
評価								
事業計画				活動実績				
<ul style="list-style-type: none"> <li>前半 文化財サポーターの仕組みや講座内容を検討</li> <li>後半 サポーター育成のための講座を実施し、人材を育成する。</li> </ul>				<ul style="list-style-type: none"> <li>8月 事業の内容を定めて着手。</li> <li>11月～1月 谷田部・桜地区の解説ができることを目標とした第1回解説ボランティア養成講座を開催し、修了者のうち希望者を登録。受講者11名、登録者10名。</li> <li>1月 解説ボランティア要項を制定。</li> <li>2月 展示解説等へのボランティア参加開始。</li> <li>年間を通じて、民間のボランティア団体「小田城親衛隊」と連携し、小田城跡での解説・イベント補助や会員への研修等を実施。</li> </ul>				
成果				課題				
ボランティア制度を新たに創設したことで、市の事業に市民が参加し、文化財への理解と愛着を深める機会とする仕組みができた。				<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティア登録者の人数を増やしていく必要がある。</li> <li>登録者がより多くの事業に参加できるよう、登録者の知見の向上を目指す研修が必要となる。</li> </ul>				
改善目標（R02年度にむけて）								
解説ボランティア養成講座を定期的で開催し、登録者向けのステップアップ研修も実施する。								
指標の推移								
1	指標名	文化財サポーター参加人数 (人)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	0.0
	指標の概要	文化財サポーターとして活動する人数						
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	17	294	0
事業費計		(千円)	0	17	294	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.80		
		時間外勤務 (時間)	0.00	28.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	5,496		
事業コスト		(千円)	0	5,513		

R02年度当初積算根拠	報償費	94千円 (ボランティア謝礼)
	賃借料	200千円 (養成講座・研修用バス賃借料)

予算の方向性	理由	H30年度策定の文化財保存活用計画を特色づける事業であり、R1年度が準備期間、R2年度から本格的な実施となるため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	860 小田城跡保存事業									
戦略プラン	I	3	3	文化財保護の推進	担当部課	教育局文化財課				
総合戦略					係名	保存係・活用係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-100503-15 小田城跡に要する経費				事業分類	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分	事業期間					市民参加	<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画			
個別計画	史跡小田城跡保存整備基本計画、つくば市文化財保存活用計画				事業体制		<input type="checkbox"/> 実行			
根拠法令	文化財保護法					市長公約	<input type="checkbox"/> 評価・検証			
					一部委託					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>中世常陸の一大中心地だった、国指定史跡「小田城跡」を土地買収により保存し、歴史公園として活用できるよう復元整備するため。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>土地買収は、文化庁長官に現状変更を許可されない土地等で実施し、H19年度までに史跡南半の市街化調整区域約11haがほぼ終了し、現在は北半の市街化区域で概ね毎年1筆を買収する。</li> <li>復元整備は、H21～27年度に、史跡（約22ha）中心の本丸跡を主とする遺構整備ゾーン（約4.2ha）で実施し、合わせて展示機能を持つ案内所を建設する。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<p>史跡内2,126㎡の公有化及びそれに伴う測量や鑑定などを実施し、8月までに地権者交渉で合意、年内に登記、支払いを完了し、年度末までに土地の引き渡しを受ける。</p>					<p>史跡内2,126㎡の公有化及びそれに伴う測量や鑑定などを実施し、8月までに地権者交渉で合意した。教育委員会への報告や税控除のための税務協議を行い、12月に契約、登記を完了させた。</p>					
成果					課題					
<p>小田城跡歴史ひろば遺構復元ひろば北側隣接地を購入できたことにより、史跡小田城跡の保存を行うことができたとともに、今後の活用の用地となる。</p>										
改善目標（R02年度にむけて）										
指標の推移										
1	指標名	整備工事の進捗率（H28まで）					（ % ）		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	80.0	100.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	80.0	98.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	指標の概要	整備工事の進捗率								
2	指標名	土地買収面積（H29以降）					（ m <sup>2</sup> ）		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	870.0	750.0	2,126.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	992.0	748.0	2,135.8	0.0		

	指標の概要	史跡保全のための土地買収面積						
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	27,176	22,648	22,443	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	5,487	0	0	0
	一般財源	(千円)	1,314	5,672	6,020	0
事業費計		(千円)	33,977	28,320	28,463	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.15	0.15		
		時間外勤務 (時間)	60.00	30.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,208	1,134		
事業コスト		(千円)	35,185	29,454		

R02年度当初積算根拠	09 旅費	7千円
	10 需用費	20千円 (収入印紙20千円)
	11 役務費	761千円 (土地鑑定233千円、補償鑑定528千円)
	12 委託料	759千円 (土地境界測量委託)
	16 土地購入費	26,302千円 (保存用土地購入)
	21 補償金	614千円 (塀など工作物)
	※歳入 国庫補助金 22,443千円 (対象経費28,054千円の80%)	

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	154,770	146,675	148,596	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	29,000	33,000	33,400	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	9,693	3,669	3,750	0
事業費計		(千円)	193,463	183,344	185,746	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.20	0.20		
		時間外勤務 (時間)	0.00	10.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	1,412	1,437		
事業コスト		(千円)	194,875	184,781		

R02年度当初積算根拠	役務費 495千円 (不動産鑑定手数料) 公有財産購入費 185,251千円 (保存用地購入)
	※歳入 国庫補助金 148,596千円 (史跡等買上げ事業・対象経費の80%) 金田官衙遺跡用地取得事業債 33,400千円 (市負担分の90%)

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の実施計画を達成した。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	3	他の事業に優先して進める必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	865 学校での伝統文化教育支援事業									
戦略プラン	I	3	3	文化財保護の推進	担当部課 係名	教育局文化財課 保存係・活用係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-100503-18 歴史文化教育・活用に要する経費				市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解				
要求区分			事業期間			<input type="checkbox"/> 企画・立案、計画				
個別計画	つくば市文化財保存活用計画					<input type="checkbox"/> 実行				
根拠法令	文化財保護法、教育基本法					<input type="checkbox"/> 評価・検証				
事業体制					事業体制	職員のみ				
市長公約					市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>「歴史・文化教育」は、教育日本一を目指して始まった「つくばスタイル科」の7本柱の一つに挙げられ、また改正教育基本法等でも重視されていることから、県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財を、学校教育の中で市内の子供達に伝えるため。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座・文化財施設見学説明</li> <li>・学校教諭対象の説明研修会の開催</li> <li>・つくば市の歴史や文化財を、教育現場で活用しやすい形にまとめるとともに、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・出前講座・文化財施設見学説明</li> <li>・夏期に学校教諭対象の説明研修会の開催</li> <li>・つくば市の歴史や文化財を、教育現場で活用しやすい形にまとめるとともに、伝統文化教育を支援する各種教材を学校に提供</li> <li>・夏休み期間中、文化財展示施設4館をちびっ子博士事業で見学施設とし、臨時解説等の機会を設ける。</li> <li>・小中学生を主な対象に夏休み自由研究相談を開催し、学習を支援する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・市内外の小中学校への出前講座や展示施設での説明案内を29回及び市内高校での講座2回を行った。</li> <li>・学校教諭対象の説明研修会を8月に開催し、47名が参加した。</li> <li>・夏休み期間中、文化財展示施設4館をちびっ子博士事業の対象施設としたほか、自由研究相談室を2日間開催した。</li> <li>・小田城跡歴史ひろばの学校向けパンフレットを新たに作成し、15,000部印刷した。</li> </ul>					
成果					課題					
<p>歴史資料や文化財に触れる機会を手教・支援することで、多くの児童・生徒たちが郷土に関心と愛着を持つ機会を増やすことができた。</p>					<p>児童数の増加や学校教育バスとの兼ね合いで施設見学が困難な学校のために出前講座を周知したが、持ち出しできる民具の点数が限られており、学校のニーズに十分に答えられないことがあった。</p>					
改善目標（R02年度にむけて）										
施設見学に替わる出前講座を周知をする際に、できることを詳細に伝えるとともに、講座の内容をマニュアル化する。										
指標の推移										
1	指標名	講座・説明件数					( 件 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	25.0	25.0	25.0	25.0	30.0	30.0	30.0		
	実績	27.0	30.0	27.0	34.0	30.0	31.0	0.0		
	指標の概要	学校対象に行う出前講座や展示施設見学説明の件数								
2	指標名	研修会の開催件数					( 件 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0		
	実績	2.0	2.0	1.0	1.0	0.0	1.0	0.0		

	指標の概要	学校教諭対象の説明研修会の開催						
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移							
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)	
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	
	県支出金	(千円)	0	0	0	0	
	地方債	(千円)	0	0	0	0	
	その他	(千円)	0	0	0	0	
	一般財源	(千円)	184	142	209	0	
事業費計		(千円)	184	142	209	0	
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.50			
		時間外勤務 (時間)	50.00	30.00			
	臨時職員等	(有無)	無	無			
人件費		(千円)	3,654	3,466			
事業コスト		(千円)	3,838	3,608			

R02年度当初積算根拠	・ 需用費 209千円 (学校支援用リーフレット印刷代)						
-------------	------------------------------	--	--	--	--	--	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	866 文化財展示講座等事業									
戦略プラン	I	3	3	文化財保護の推進			担当部課 係名	教育局文化財課 活用係		
総合戦略							新規・継続	継続		
							事業分類	任意的事務		
予算科目	01-100503-18 歴史文化教育・活用に要する経費									
要求区分		事業期間					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
個別計画	つくば市文化財保存活用計画									
根拠法令	文化財保護法、市教育振興計画						事業体制	一部委託		
							市長公約	72		
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>県内でも有数の内容を誇る市の歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むとともに観光等へ活用することで市のプロモーションに寄与するため。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>展示施設や市庁舎を巡る巡回企画展を開催し、テーマに沿った講演会等を実施</li> <li>古文書読解等の文化財講座の実施</li> <li>平沢官衙遺跡歴史ひろば、小田城跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の開催</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>秋季を中心とする展示施設等での巡回企画展及びテーマに沿った講演会等の開催</li> <li>6～9月と12～3月に各8回古文書読解等の文化財講座の開講</li> <li>四季毎の平沢官衙遺跡歴史ひろば・小田城跡歴史ひろばにおける史跡活用催事の実施</li> <li>遺跡地図を現行のH13年度版から最新の内容に更新し、活用資料として刊行</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>「万葉の時代のつくば」巡回企画展(1,467人)・平沢官衙遺跡周辺歴史ウォーキング(14人)・講演会(83人)開催</li> <li>古文書講座を前期8回、後期6回開講し、計54人が参加</li> <li>平沢官衙遺跡で、春の建物開扉(約1,600人)・夏のライトアップ(約600人)・ちびっ子博士開扉(約1,000人)・秋の建物開扉(約900人)・冬の芝文字と防火訓練(116人)開催</li> <li>小田城跡で、春のキャンドルナイト・大護摩法要と秋の陣(約400名)・どんど焼きと冬の陣(約2,000人)開催</li> <li>遺跡地図を更新して5,000部刊行</li> </ul>					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>天候等により来場者数が少なかった催事もあったが各文化財展示施設での催事・講座・企画展の実施によって歴史や文化財に対する市民の関心や郷土愛を育むとともに、観光やシティプロモーション等の活性化に寄与できた。</li> <li>遺跡地図を18年ぶりに更新し、活用資料が充実した。</li> </ul>										
改善目標 (R02年度にむけて)										
指標の推移										
1	指標名	企画展開催に伴う講演会等の回数 (回)					活動指標			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0		
	実績	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	2.0	0.0		
	指標の概要	企画展のテーマに沿った講演会や体験講座の開催日数								
2	指標名	( )					活動指標			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	1,000	2,162	1,387	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	159	127	116	0
	一般財源	(千円)	2,601	3,215	2,674	0
事業費計		(千円)	3,760	5,504	4,177	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.70	1.20		
		時間外勤務 (時間)	350.00	150.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	5,809	8,510		
事業コスト		(千円)	9,569	14,014		

R02年度当初積算根拠	○歳出	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員報酬 1,837千円 (資料作成補助等)</li> <li>・報償費 142千円 (講師謝礼)</li> <li>・旅費 111千円 (会計年度任用職員費用弁償)</li> <li>・需用費 589千円 (消耗品費 78千円、展示パンフレット等印刷 511千円)</li> <li>・役務費 180千円 (郵便料 30千円、運搬等手数料 150千円)</li> <li>・委託料 1,300千円 (催事委託・平沢 650千円、小田 650千円)</li> <li>・賃借料 18千円 (展示品運搬用自動車賃借)</li> </ul>	
	○歳入	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国庫補助金 1,387千円 (埋蔵文化財公開活用事業)</li> <li>・雑入 116千円 (文化財講座受講料)</li> </ul>	

予算の方向性	理由	R1年度に遺跡地図刊行が完了したため
縮小		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	981 各種文化財基本調査事業									
戦略プラン	I	3	3	文化財保護の推進	担当部課	教育局文化財課				
総合戦略					係名	保存係				
					新規・継続	新規				
予算科目	01-100503-12 文化財調査に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	市民参加	<input type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	つくば市文化財保存活用計画					事業体制	一部委託			
根拠法令	文化財保護法				市長公約					
概要										
事業の目的					事業の概要					
<p>市内に所在する無指定を含む各種文化財の基本調査を行い、基礎データを収集し、今後の保存対策の立案・資料蓄積及び「まちづくり」の根幹となる地域独自の文化財の把握をするため。</p>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悉皆調査 各種文化財について計画的・継続的に所在や概要を把握する基本調査 H26年度から6年計画で自然文化財調査1件を実施中</li> <li>・ 文化財現況確認調査 巡視等により文化財の現状を把握する。</li> <li>・ その他文化財の調査 その他必要に応じて各種調査を行う。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悉皆調査は自然文化財調査の6年目で、筑波山地を対象に30件を目標に行う。その過程で新規対象が生じた場合は適宜追加調査する。</li> <li>・ 今年度分調査まとめに加え、H26年度からの調査成果をまとめた報告書を作成する。</li> <li>・ 夏・冬の2回、県文化財保護指導員とともに国県指定文化財等の巡視を行う。</li> <li>・ 必要に応じて各種文化財調査を行う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悉皆調査は筑波山・宝篋山の巨樹・古木等を対象に、5・6月に現地調査し、市内全域の現地調査を完了した。3月に今年度及び調査全体をまとめた報告書を受けた。調査件数は今年度分73件、全体で496件となった。</li> <li>・ 8月と1月の2回、県文化財保護指導員とともに国県指定文化財等の巡視を行った。</li> <li>・ 11月から2月に、解体が予定されている小田所在の解脱寺について、現状を記録するための建造物調査を実施した。</li> </ul>					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悉皆調査により、調査以前は不明であった巨樹・古木の基礎データがまとまり、今後の保存活用の資料ができた。</li> <li>・ 巡視を通じて指定等文化財の現状が把握できた。</li> <li>・ 解脱寺の調査により、江戸時代の寺院建築の詳細な記録資料が蓄積できた。</li> </ul>					巨樹・古木調査の成果を市民等にわかりやすく公開することが必要である。					
改善目標（R02年度にむけて）										
巨樹・古木調査の成果をまとめた市民向けの刊行物を作成する。										
指標の推移										
1	指標名	悉皆調査件数					( 件 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	73.0	0.0		
	指標の概要									
2	指標名	巡視による現況確認文化財件数					( 件 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	26.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	781	620	0
事業費計		(千円)	0	781	620	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	20.00		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	2,085		
事業コスト		(千円)	0	2,866		

R02 年度当初 積算根拠	調査員謝礼 20千円 文化財悉皆調査委託料 600千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	2,707	3,226	4,398	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	3,407	4,258	4,583	0
事業費計		(千円)	6,114	7,484	8,981	0
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.10	1.50		
		時間外勤務 (時間)	600.00	350.00		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	9,253	11,037		
事業コスト		(千円)	15,367	18,521		

R02年度当初積算根拠	01会計年度任用職員報酬 6,720千円 08旅費 408千円 (普通5千円、会計年度任用職員費用弁償 403千円) 10需用費 725千円 (消耗品費 224千円、燃料費 3千円、写真現像代 3千円、報告書印刷代 495千円) 11手数料 (汲取) 10千円 12委託料 (出土品等分析) 106千円 13使用料及び賃借料 (重機・調査機材) 945千円 15埋戻し用原材料費 5千円 17備品購入費 (テント) 62千円 ※歳入 国庫補助金 4,398千円 (埋蔵文化財発掘調査等事業・対象経費の1/2)
-------------	--

予算の方向性	理由	令和2年度に予定される複数の大規模開発に伴う試掘・確認調査に対応すること、会計任用年度職員への変更に伴う報酬増額のため。
拡充		

方向性		
市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		